

2014年 あけましておめでとうございます。大半が私より年上の生徒のみなさんへお年玉を。

## 『上達への末広がり八つの秘策』from JUNKO

- ①レッスンは「習う」のではなく**「盗む」**場である。
- ②練習はしないといけない「義務」でなく、  
今できる**「贅沢」**である。
- ③壁にぶつかったときこそ「ラッキー」  
越えるハードルが見えた！
- ④上達への練習法は歌うことだけ？  
生活のまわりにも上達に繋がるヒントがある。
- ⑤歳を重ねるほど「心と体が敏感になる」ような  
意識づくりが大切。
- ⑥ゴスペルの基本三要素は『発声・発音・リズム』である。  
そのベースになる体づくりも大切。
- ⑦歌は人柄。自分を磨けば表れ出るものも変化する。  
感謝の気持ちは素敵な歌へとつながる。
- ⑧たまにはさぼったっていい。脱力も大切な要素。

### ニッケレポスゴスペルコンテストを終えて(つぼっち@はれたん)

前回のコンテスト出演は5年前の可純ちゃんが誕生した日。当時はれたんメンバーだったご主人の三宅先生が全身真っ白の衣装で病院から駆けつけられたのを思い出しました(笑)その時は入賞狙うぞなんて思いはなく、参加するだけでも意義があるという気持ちでした。今回の曲「The heavens are telling」はBrush Upに向けて1年程前から練習を始めましたが、クワイヤーはもちろんソロも難しくチャレンジしたものの、一時期これは無理だと断念していました。しかし、天音祭と今回のコンテストでソリストに指名していただき必死で練習しました。

JUNKO先生のご指導、つっちーからのアドバイス、そしてメンバーからの励ましのおかげで本番は何とか今自分が出来る全力は出せたと思います。何より遠路はるばる応援に来てくださったトーキングの皆様、そしてご声援いただいた皆様のお気持ちがとても心強かったです。結果は残念ながら入賞できませんでしたが、今後に繋げていけるヒントを沢山いただけたと思います。前回とは違い悔しさも大きいので、皆で絶対リベンジしてやるぞ！という気持ち満々です！

### 第2回ニッケレポスゴスペルコンテストに参加して(かこちゃん@はれたん)

はれたんに入って3年目。はれたんのメンバーとして初めてのコンテスト出場でしたがすごく楽しかったです。10月6日(日)天満音楽祭の打ち上げ時に、コンテスト出場の話がJUNKO先生からあり、エントリー曲はブラッシュアップでも歌った『The Heavens are Telling』と聞きました。初めてこの曲を生で聞いたのが、ソウルマティックスさんのステージでした。その時は「いつか私達もこんな風に歌えるようになったらいいなあ。」と思ったのですが、まさかコンテストでこの曲を歌う事になるとは思いませんでした。ブラッシュアップの時の反省を糧にして、更にステップアップを目指し1ヶ月半メンバー皆で頑張ってきました。

コンテストの本番は思ったほど緊張せず、気持ち良く歌う事ができました。本番が終わった後、審査結果を待つ間、「優勝は無理だけど、もしかしたら何か賞はもらえるんじゃないかな。」とひそかに期待していましたが現実はその甘いものではありませんでした。今回のコンテストで  
①審査員の先生の講評で、はれたんとして足りない所を教えて頂いた事。  
②他の出演者のステージを聞き、勉強になり貴重な体験ができた事。  
③客観的に自分達の今の实力を知ることができた事。  
この3つが大きな収穫だったと思います。

### サンクスパーティーの感想 (山崎代表@ゴベック)

いつもながら事前の計画、準備をしていただいたJUNKO先生初め常任委員の皆さん、だっこの皆さんに感謝します。会場設営が見事で、温かい雰囲気が出されていて、居心地のいいものでした。当日も進んで準備に協力されている姿が多く見る事が出来、さすがTAGのみなさんだなあと感心しました。



### サンクスパーティーに参加して (はまちゃん@だっこでゴスペル)

サンクスパーティーは初参加でしたが、みなさんの日頃の成果と各クワイヤーの隠し芸？に大感激しました。人を楽しませる天才のJUNKO先生の飛び入り芸はもちろんのこと、「唇の上ではー」は勇気と感動を貰いました(←誉めています。)光あるところへの歌詞のごとく色々な想いにトライしているたくさんの方が印象的でした。私はサンクスパーティー係もさせていただいていたのですが、こうやって楽しいパーティーが開けるのは多くの方の力を借りているのだなと感じました。音響担当のステマネさん、初めてとは思えないほど痛快感なテンポで司会をしてくださったうさぎさん、そして雰囲気を盛り上げてくださった温かいTAGの方々。例年大量のゴミをどうやって持ち帰るか、そしていかに皆さんに楽しんでいただいて、自分たちも楽しむかという問題を抱えだっこ内で何度も話し合いがなされました。当日は再度のゴミアナウンスに加え、分別にご協力をいただき本当にありがとうございました。そのおかげでゴミ持ち帰り係の「え？今年は何もこれだけなの？」という嬉しい悲鳴もありました。改めて皆様にお礼を申し上げます。とっておきます。



でもやはり、入賞できなかった事、先生の期待に応えられなかった事がすごく悔しいです。

この悔しさをバネにして、今回は残念ながら出場できなかったメンバーと一緒に、来年はぜひリベンジしたいです。最後に、JUNKO先生、今回コンテストに出場する機会を与えて頂きありがとうございました。応援に来てくださったトーキングの皆様ありがとうございました。そしてソロで頑張ってくれたつぼっち、お疲れ様でした。そして一緒に参加したはれたんメンバーのみんな、ありがとうございました。

## ニッケレポスゴスペルコンテスト観覧の感想(坂田@Talking Gospel代表)

会場は広く、高く、とても歌いやすい会場だと思いました。サンクスパーティーでははれたんは意気込みが感じられ感動しました。本番も心のこもった素晴らしい歌声でした。コンテストなので分かりませんが、今年のリベンジを期待します。審査の先生から出演者に対して全般的なアドバイスです。

- ①振り付けを揃える。リズムにのせる工夫。
- ②はじめて、ソフトに、自信を持って、3倍くらいの表現を出す。
- ③英語の発音をしっかり。音がつながるように歌う。
- ④バラード系の歌をしつとりと歌わない。歌い手も聞き手も元気が出るように。

などでした。1チーム1名～22名の参加でいろんな歌声を楽しめました。もしTGが次に出場するならば、リズムカルな楽しい曲にするか、それともTGのいぶし銀を聞かせるような曲にするか、選曲はとても大切なポイントになると思います。今のTGの楽しい雰囲気を大切に、今年チャレンジしましょう！

## 加古川まで「はれたん」の応援に(岡田幸子@Talking Gospel)

ニッケレポス・ゴスペルコンテストにゴスペル仲間「はれたん」が出場するというので、少し遠いですが加古川まで応援に行きました。JUNKO先生が私達のTGに「来年は出てみない？」の言葉に影響されて、コンテストを見ておきたいと思ったからです。コンテストを聴いて感じました。「コンテストに出場するチームは、歌唱力、パフォーマンス、チームワークがさすがやわ！」と。はれたんは「The Heavens Are Telling」を全力出し切って熱唱していました。歌い終わった時の晴れ晴れとした表情はカッコよかったです。残念ながら入賞はできませんでしたが、素晴らしいものを見させてもらいました。来年のTGの出場は私にとって夢のような話ですが、チームワークを発揮し全力で努力すれば、実現できるかもしれないと思っています。

## サンクスメンバーのあんな顔、こんな顔 ニ丁さん@ゴベック&TGに突撃インタビュー!

春はじゃがいも、秋はさつまいも。だっこのゴスペルをはじめ、子連れメンバーや子供好きなメンバーには恒例になっている尼丁農園のお芋掘り。尼丁さんご夫妻は社会貢献のひとつとして、ご自宅の農園で精魂こめて育てた野菜の収穫を、近隣の子供達に体験させ、自然にふれる機会を作ってもらっています。ゴベックとTalking Gospelの2クワイヤーで活動するパワフル尼丁さんの別の素顔をインタビュー!

- ①大きな畑ですが、毎回何株ほど植えてもらっていますか?  
春はジャガイモ、秋はさつまいも それぞれ550株です。

- ②どんな方々が体験にいられますか?

◎尼丁農園でのさつまいも掘り

学生(大学、高校、専門学校) 95名

仕事関係、近所、友人関係 76名

ゴスペル関係 45名

◎尼丁農園での大根収穫

近所の児童養護施設の職員

◎他に家の横の畑で、ジャガイモ・イチゴ・さつまいも収穫

園児 70名 老健施設 10名

去年は、合計で約300の方が収穫体験に来られました。

- ③いつからこのような体験を提供されているのですか?

8年前です。

- ④こういうことを地域の方に奉仕する想いはなんですか?

現役のころから、家の前を通りがかった散歩中の園児たちにさつまいもをとらせてあげたりしてました。退職し、少し時間と余裕が出てきました。それとまだまだ元気です。娘達もこの地域で仕事をし、いろんな方たちにお世話になっています。ブドウ畑を購入し、今の農園ができた時、私達らしいやり方で地域に貢献しようと思いいまに至っています。。お金をかせげば何でも手に入る時代ですが、土に触れること、出来るだけ低農薬の野菜を作ること、食べてもらうこと、人とつながっていくこと・・・想いはいっぱいあります。

- ⑤やっていて大変なことはなんですか?

なんせ大量なので、植え付け、水やり、草取り、いのしし対策が大変です。二年前、三年前はイノシシの被害にあいました。去年は、鉄柵を周囲に取り付けたおかげであまり被害がありませんでした。

尼丁さん、インタビューにお答えいただきありがとうございます。食べ物を収穫できるまで愛情をもって育てるといのは、かなりの忍耐と持続力が必要だと思うのですが、それを毎年何百人もの方々に収穫体験させてもらってらっしゃるご夫妻に頭が下がります。



## 編集後記 JUNKO@サンクス代表

怒涛のブラッシュアップゴスペルライブから、あっという間に新しい年が明けました。サンクスNewsの編集長が一巡し、今回で第6号を迎えます。メンバーのみなさんには楽しんでいただけてますでしょうか? サンクス・エイジング・ゴスペルカンパニーという団体は、各クワイヤーの活動に基盤を置きながら、1クワイヤーではパワーが足りずに出来ない活動を実現させ、またよい距離感で互いに刺激し、応援しあえる場でありたいと思っています。そのためには、お互いの活動内容やクワイヤーの個性、サポートしてくださっている方々のこと、制作裏舞台を、みなさんにも知ってもらうことが大切だと思っています。そんな想いを胸に活動を進めていますので、このサンクスNewsはもちろん、講師ブログ「JUNKOのゴスペル西遊記」やサンクスメンバーブログ、サンクスオフィシャルホームページの方にも関心を持っていただけると幸いです。

## サンクス今後の活動予定

- ★2月13日(木)12時30分～12時45分 <ゴスペル18出演>  
第6回大阪府高齢者大学同窓会文化祭  
於:メイシアターレセプションホール ※入場無料
- ★2月14日(金)10時35分～10時50分 <Talking Gospel出演>  
第6回大阪府高齢者大学同窓会文化祭  
於:メイシアターレセプションホール ※入場無料
- ★3月9日(日)昼過ぎ <ゴベック出演>  
阿倍野市民学習センターグループフェスティバル  
於:あべのベルタ3F 阿倍野市民学習センター※入場無料
- ★3月20日(木)午前中 <だっこのゴスペル出演>  
山五るんるん子育てルームお別れ会 ※関係者のみ
- ★4月12日(土)11時～13時 サンクス総会&お弁当交流会  
於:ゆいぴあ4F工作室  
出席者:JUNKO・常任理事・理事・メンバー希望者